

地域情報化アドバイザー制度活用報告書（1日目）

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	新十津川町		代表者名	熊田 義信
担当者部署	総務課		連絡先電話番号	0125-76-2131
担当者役職	主査	担当者氏名	石丸 拓憲	連絡先E-mail
住所	0731103 北海道新十津川町字中央301番地1			

1-2. 推薦団体（「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力）

2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	望月 昌樹
評価	大変よい
上記評価の理由（どのようなところがよかったか等詳細に）	行政事務のデジタル化推進計画の策定という漠然とした要望に対して、課題を整理していただきアドバイスを頂いたことで方向性が定まった。
アドバイザーへの要望事項	特に無し

3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

	派遣日	開始時刻	終了時刻	内休憩時間（分）	活動時間（分）
3-1. 活動	2022年1月18日	13時00分	15時10分		130
	派遣形態	支援・助言（オンライン）			

4. 報告書に関するAPPLICホームページへの掲載許可

掲載許可	<input checked="" type="radio"/> 掲載可
------	--------------------------------------

5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性（職員、一般、企業等）について【自由記述】	人数
	職員	1人
5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果		
事業の課題・問題点（具体的にご記入下さい）	行政事務のデジタル化推進計画という組織内で前例が無い事業を行うにあたって、進め方、成果物はどのようなものになるか描きにくい。	
支援により目指す成果（具体的にご記入下さい）	町の現状と今後のスケジュールについて共有し、今後の進め方等のアドバイスがあれば頂きたい。	
アドバイザーに支援を受けた内容（具体的にご記入下さい）	共有した情報を基に今後の進め方についてアドバイスを頂いた。主要な内容は次のとおり。 ・検討メンバー間のICT理解度にはらつきがあっても全員が参加できる検討会を目指すが良い。 ・情報システム標準化の必要性について。 ・計画の立案に当たっては費用対効果を十分に意識すると良い。	
支援を受け改善又は解決された内容（具体的にご記入下さい）	支援を受ける前は、事務局主導で進める前提で考えていたが、全員の意見を反映した計画立案を行うよう方向性が改善された。	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	◎途中段階であり、具体的な成果物はできていない

改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	無し	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。)アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。	
5-3. 今後の計画	最も当てはまるものリストより選択下さい	③现阶段では課題・問題が残っているため未定
事業の最終的な目指す姿	行政事務のデジタル化推進計画が、組織を横断した検討メンバーにより策定されること。	

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

